

(単位：千円)

第9款 消防費							
第1項 消防費							
第1目 常備消防費							
番号	事項(事業)名	予算額	財源内訳		事項(事業)の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	職員給与費	362,578	諸収 5,958	356,620	■職員56人分の給与	総務課	
2	常備消防一般事務費	38,667	使手 諸収 821 176	37,670	■常備消防に係る一般事務 ■常備消防車両・通信機器の維持管理、新規採用職員研修等	消防本部	
3	救急業務費	10,355		10,355	■災害の被害を最小限に食い止めるための業務及び救命指示センターの運営負担金等 ■移動式高圧コンプレッサーの整備	消防本部	
4	分遣所費	3,608		3,608	■上林分遣所の維持管理	消防本部	
5	救急救命士育成費	2,283		2,283	■災害、事故等による傷病者の救命率向上を目的として、救急救命士1人を養成	消防本部	
6	被服更新事業費	797		797	■消防職員の安全を確保するため、防寒衣等を更新	消防本部	
7	少年少女消防クラブ事業費	153		153	■小学生を対象とする少年少女消防クラブの活動	消防本部	
8	緊急消防援助隊整備事業費	443		443	■緊急消防援助隊の出動に備え、現地活動を円滑に実施するための資機材の維持管理等	消防本部	
9	消防大学校研修費	372		372	■消防に関する高度の知識・技術を修得するため消防大学校へ入校	消防本部	
	合計	419,256	6,955	412,301			

第2目 非常備消防費							
番号	事項(事業)名	予算額	財源内訳		事項(事業)の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	非常備消防一般事務費	31,992		31,992	■非常備消防に係る一般事務 ■消防団員報酬、京都府消防協会への負担金、非常備消防車両の維持管理等	消防本部	
2	費用弁償	5,492		5,492	■消防団長が招集する訓練に対する手当 ■実火災等の消防団員に対する出動手当	消防本部	

(単位：千円)

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
3	被服更新事業費	1,247	繰入 496	751	■消防団員の安全を確保するため、活動服及びヘルメット等を更新	消防本部	
4	消防団員退職報償金等	23,910	諸収 5,445	18,465	■消防団員の退職報償金及び消防団員等公務災害補償等共済基金への掛金	消防本部	
5	公務災害費	4,227	諸収 2,251	1,976	■消防団員の公務災害補償費及び消防団員等公務災害補償等共済基金への掛金	消防本部	
	合計	66,868	8,192	58,676			

第3目 消防施設費

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	消防施設維持管理費	7,850	諸収 1,275	6,575	■防火水槽等既設消防施設の維持管理、改修	消防本部	
2	消防車両整備事業費	55,015	府 11,000 市債 43,300	715	■老朽化した消防車両、消防ポンプの更新	消防本部	消防1
3	防災基盤整備事業費	8,328	市債 8,300	28	■消防施設の充実を図るため、防火水槽を整備	消防本部	消防2
4	上林出張所（仮称）整備事業費	5,001	府 4,614	387	■24時間体制で業務を行うための施設改修	消防本部	消防3
	合計	76,194	68,489	7,705			

第4目 水防費

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	水防一般事務費	3,305		3,305	■水防に係る一般事務 ■風水害等の消防団員に対する出動手当	消防本部	
	合計	3,305		3,305			

(単位：千円)

第5目 災害対策費								
番号	事項(事業)名	予算額	財源内訳		事項(事業)の概要	担当課	説明資料	
			特定財源	一般財源				
1	災害対策費	7,889	使手	1	7,888	<ul style="list-style-type: none"> ■防災会議の開催、防災関係団体及び自主防災組織育成に対する補助金 ■防災行政デジタル無線、Jアラートの維持管理 	総務課	
2	原子力防災対策費	2,094	府	1,502	592	<ul style="list-style-type: none"> ■原子力防災対策用車両等の維持管理 	総務課	
3	災害時応急対策整備事業費	3,285			3,285	<ul style="list-style-type: none"> ■避難所の災害備蓄品の整備 ■浸水想定区域等の公表に伴うハザードマップの改訂 	総務課	消防4
	合 計	13,268		1,503	11,765			

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

消防1

(単位：千円)

事業名	消防車両整備事業費		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	消防・救急体制の充実	55,015		11,000	43,300		715
目 的 目 標	火災、事故等から市民の生命、身体、財産を守るため、総合的な消防防災体制の確立に努め、市民と共に安全・安心なまちづくりを推進			前年度当初予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				53,834	府補助	地域防災力総合支援事業補助金		11,000	
事業概要	■消防団用の消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車等の更新 ○配置後20年を経過した消防団用車両の更新 ・消防ポンプ自動車 2台 (五津合町、物部町) ・小型動力ポンプ付積載車 (普通車) 1台 (井倉町) ・小型動力ポンプ付積載車 (軽自動車) 1台 (小西町) ・小型動力ポンプ付積載車 (普通車) 2台 (十倉中町、高津町) ・小型動力ポンプ 1台 (篠田町)			背景・経緯	・経年による老朽化が進行しているため、更新が必要				
				期待される効果	・有事の際に安全で円滑な消防活動を展開 ・複雑多様化する災害に対応 ・消防職員、消防団員の士気高揚				
事業費内訳	・役務 552 (手数料、保険料) ・備品 54,300 (消防車両) ・公課 163 (自動車重量税)			市民参加の状況					
				他市の取組状況	・福知山市：毎年2台の消防団車両を更新 ・舞鶴市：毎年1～2台の消防団車両を更新 ・宮津市：配置後20年以上経過したものから更新 ・京丹後市：更新基準年数の設定なし 整備後19～20年を経過したものを更新				
				担当課・担当	消防本部 管理課 施設担当			TEL	42-0119

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

消防2

(単位：千円)

事業名	防災基盤整備事業費		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	消防・救急体制の充実	8,328			8,300		28
目 的 目 標	計画的に整備を進め、消防水利の充実と消防団拠点施設の整備により、災害に強いまちづくりを推進			前年度当初予算額					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 防火水槽の整備 ○ 無蓋防火水槽 1基 (物部町) ○ 建設用地の購入、測量等 (和木町) 			背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種災害に迅速に対応できる出動体制、設備や施設の計画的な整備を行うなど、消防力の充実と維持向上が必要 				
				期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防水利の不足している地域に防火水槽を設置することにより、充足率の向上と地域住民への安心・安全に寄与するとともに、災害発生時に迅速な対応を行うことができる環境を整備 				
事業費 内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需用 1 (消耗) ・ 委託 700 (測量、登記) ・ 工請 7,388 (防火水槽) ・ 公財 239 (土地) 			市民参加の 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織が各地で編成される中、新設の防火水槽や格納庫の整備により、訓練参加などの機会が増加 				
				他市の取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防火水槽 ・ 福知山市、宮津市、京丹後市：耐震性有蓋防火水槽 2基/年 ・ 舞鶴市：耐震性有蓋防火水槽 1基/年 				
				担当課・ 担当	消防本部 管理課 施設担当			TEL	42-0119

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

消防3

(単位：千円)

事業名	上林出張所（仮称）整備事業費		新規	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	消防・救急体制の充実	5,001		4,614			387
目 的 目 標	上林地区において24時間体制で火災・救急等の業務を実施するため、施設を改修し、安全・安心なまちづくりを推進			前年度当初予算額					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■仮眠室の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○ベッド、ロッカー 各4台 ○パーテーションの設置等 ■空調設備更新 3台 ■通信設備移設 一式 ■内装等改修 <ul style="list-style-type: none"> ○壁、床、トイレ改修等 			背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化により、救急件数やドクターヘリ対応の増加、症状の重症化が懸念 ・消防団員の減少により、建物火災、集中豪雨等への迅速な対応のため、常備消防の充実が必要 				
				期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設の機能強化による災害・救急対応の円滑化 ・仮眠室の整備等により24時間体制で火災・救急等の業務を実施 				
事業費 内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・工請 4,652 (施設改修) ・備品 349 (ベッド、ロッカー) 			市民参加の 状況					
				他市の取組 状況					
				担当課・ 担当	消防本部 管理課 庶務担当	TEL	42-0119		

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

消防4

(単位：千円)

事業名	災害時応急対策整備事業費		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	防災対策の推進	3,285					3,285
目 的 ・ 目 標	府戦略的地震防災対策推進プランによる重点備蓄品目（食糧、水、毛布等）の計画的な備蓄 国・府の浸水想定区域の見直し等に伴い、ハザードマップを更新し、住民への危険個所の周知と防災対策意識の高揚を促進			前年度当初予算額					
				663					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■土砂災害ハザードマップの更新及び印刷 ■備蓄食料及び保存水の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○アルファ化米 1,000食 ○保存水（2リットル） 2,058本 			背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の京都府防災会議において上林川断層による地震発災時の最大避難者想定数16,455人に対する公的備蓄に係る基本的な考え方を整理 ・府戦略的地震防災対策推進プランによる重点備蓄品目について府と本市とが共同で1/2ずつ備蓄 ・国が平成28年度、由良川の想定最大規模降雨時の洪水浸水想定区域図等を公表し、府も犀川の浸水想定区域の見直しを実施 				
				期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップによる危険個所周知を通じた避難行動の確認や防災意識の高揚 ・一定量の資材備蓄による避難所運営の円滑化 				
事業費 内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・需用 1,125（食糧、印本） ・委託 2,160（ハザードマップ） 			市民参加の 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災活動でのハザードマップの活用 ・避難所の運営協力 				
				他市の取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・他市においてもハザードマップを作成、避難所に食糧・防災資機材等を備蓄 				
				担当課・ 担当	総務課 防災担当			TEL	42-4222